令和6年度食育指導者養成研修　日程表

食は、人間の活動の源であり、健康の維持のほか意欲や気力といった精神面の充実に大きく関わっている。そのため、心身の健康の基礎を培う重要な時期である小学校や中学校における食育の推進を図っていくことで、子供たちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるようにすることが大切である。食生活の乱れや肥満・痩身傾向等、子供の食に関する課題を解決するためには、学校、家庭、地域が連携して効果的に子供の食に関する自己管理能力の向上を目指すことが重要となる。
本研修では、学校全体で校長のリーダーシップの下に、日々の教育活動、学校の資源を一体的にマネジメントした各学校や地域の実態等に即した、組織的・計画的な食育推進のための方策について学ぶ。さらに、1）子供たちの食に関する諸課題の改善に向けて専門的知見を活用し、組織的・計画的な取組を実践する力、2）学校をはじめ、地域等の研修において食育を推進する力、を習得した指導者の養成を図る。

		8:45	9:15	9:40	10:15	10:25	11:45	12:45	13:35	13:45	15:15	15:25	16:25	16:35	17:00
9/25（水）	来所	受付（30）	研修ガイダンス（25）	イントロダクション（35） ・研修の目的確認 ・自己課題の整理と「自分への問い」の設定 ・対話による参加者相互理解と自己省察	休憩（10）	第1講　講義・協議・演習(80) 学校における食育の推進の必要性 文部科学省　食育調査官　山上 望 〔目的〕学校における食育の推進に対する考え方や実際に食育を推進するための基本的事項について理解し、これまでの取組を振り返るとともに、組織的・計画的な取組を実践する力を高める。	昼食休憩（60）	第2講　講義・協議(50) 学校給食を活用した食育の推進 文部科学省 学校給食調査官 齊藤 るみ 〔目的〕学校給食の基本的な考え方や学校給食を活用した食に関する指導について理解を深め、これまでの取組を振り返るとともに、組織的・計画的な取組を実践する力を高める。	休憩（10）	第3講　講義・協議・演習(90) 食育を効果的に推進するためのカリキュラム・マネジメントの進め方 新潟医療福祉大学　健康科学部 森泉 哲也 〔目的〕学習指導要領の趣旨に基づく、食育推進のためのカリキュラム・マネジメントおよび組織マネジメントの基本的な考え方を理解し、これまでの取組を振り返るとともに、組織的・計画的な取組を実践する力を高める。	休憩（10）	第4講　講義・協議(60) 各教科等における食に関する指導のポイント【家庭、技術・家庭】 文部科学省　教科調査官 熊谷 有紀子 〔目的〕家庭、技術・家庭における食に関する指導のポイントについて理解を深め、これまでの取組を振り返る。	休憩（10）	実践につなぐリフレクション 諸連絡 （25）

	8:45		9:00	10:00	10:10	11:10	11:20	12:20	13:20	14:20	14:30	16:20	16:30	17:00			
9/26（木）	受付	諸連絡 イントロダクション （15）	第5講　講義・協議(60) 各教科等における食に関する指導のポイント【総合的な学習（探究）の時間】 文部科学省　教科調査官 齊藤 博伸 〔目的〕総合的な学習（探究）の時間における食に関する指導のポイントについて理解を深め、これまでの取組を振り返る。	休憩（10）	第6講　講義・協議(60) 各教科等における食に関する指導のポイント【特別活動】 文部科学省　教科調査官 和久井 伸彦 〔目的〕特別活動における食に関する指導のポイントについて理解を深め、これまでの取組を振り返る。	休憩（10）	第7講　講義・協議(60) 各教科等における食に関する指導のポイント【体育、保健体育】 文部科学省健康教育調査官 岩田　悟 〔目的〕体育、保健体育における食に関する指導のポイントについて理解を深め、これまでの取組を振り返る。	昼食休憩（60）	第8講　講義・協議(60) 学校給食におけるリスクマネジメント 文部科学省 学校給食調査官 齊藤 るみ 〔目的〕学校給食におけるリスク要因について理解を深め、事故の未然防止や適切な対応を組織的に行える力を高める。	休憩（10）	第9講　講義・協議・演習(110) 個別的な相談指導 神奈川県立　保健福祉大学大学院 保健福祉学研究科 鈴木 志保子 〔目的〕個別的な相談指導の必要性の高まりと、想定される課題について理解し、これまでの取組を振り返るとともに、組織的・計画的な取組を実践する力を高める。	休憩（10）	実践につなぐリフレクション 諸連絡 （30）		

	8:45		9:00	11:00	11:10	12:00	13:00	14:05	14:20	14:45	15:00			
9/27（金）	受付	諸連絡 イントロダクション （15）	第10講　演習・協議(120)　※途中休憩10分 学びの活用計画の作成 文部科学省　食育調査官　山上 望 学校給食調査官　齊藤 るみ 〔目的〕参加者自身がこの2日間の学びを通して、それぞれの立場でどのように研修内容を活用すべきであるかについて振り返るとともに、具体的に誰に対して、どのような場面でどのような方法で食育の推進に携わっていくべきであるかといった指導者としての資質・能力を養う。	休憩（10）	第11講　演習・協議(50) 活用計画の発表① （同校種・同業種） 文部科学省 食育調査官 山上望 学校給食調査官 齊藤るみ 〔目的〕立案した企画を参加者同士で発表し合い、意見交換をすることで、より広い視野から知見を深め、食育の指導者としての資質・能力を高める。	昼食休憩（60）	第12講　演習・協議(65) 活用計画の発表② （異校種・異業種） 文部科学省 食育調査官 山上望 学校給食調査官 齊藤るみ 〔目的〕立案した企画を参加者同士で発表し合い、意見交換をすることで、より広い視野から知見を深め、食育の指導者としての資質・能力を高める。	講評（15）	休憩準備（15）	実践につなぐリフレクション（25）	実践に向けて（15）		